拘束種別: やむを得ず、車いすやベッドに拘束帯等で拘束する

実施月: 令和4年2月の実施状況

こうそくじかん みきにゅう みじっし ぷんみまん B=30分以上1時間未満、C=1時間以上4時間未満、D=4時間以上8時間未満、E=8時間以上24時間未満、F=24時間

<u> </u>	中的問題	に記入	は未	実施、A	=30	0分未満	B=3	0分以_	<u> </u>	間未漏	<mark>題、C=</mark>	1時	間以上	. 4 時間	引未満、	D=4	4 時間	以上 8	時間	未満、	E = 8	時間」	<u> </u>	時間未	満、F	=24時	間					
No.	じっし ひ 実 施日	1 E	2 E	3 日	4 E	5 日	6日	7日	8日 8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21 E	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日 31	にち 日
	拘束時間	D	D	D	D	Е	D	Е	D	D	D	D	D	D	D	С	С	D	D	D	D	D	D	D	D	D	С	D	D			
1	取組状況	しずがをのてはをるるてにありをい、い。よ	も。抜るに異なった。今らけが、行後いった、後	って、っす。サきもツ少て、戦てるツ日ルな、しいを対しかない。	へとがるどの一ら体ので、ののが	『帯 っ て 、 の の』様 シ 、『枸i解 を『枸i廓 こ で『事』子 ョ』支{東:除 紫外{東』下 ま 、『故 に ン△援 を『時	きずこめで こつでしく経っをくに後はい、て流滅る。材な至で町にて	が着い時が子もった。 でき さく	るに参見が再に援いなをンで行べにが装、時たが状が見サ	き動 ルミ行き着 再のらま兄 て ルミサ制 トっ しき度き時 べき下 い テムサ り そって カザタを 川ってる ー	『寺々はとことずと聞してるした。 のが外いが後しが帯トベ 。 シッ実 ベが解しるもたなをルが日ョが施	は除て。、りど解トやンにこ途が再、もは除をにで	向まず中が就な朝、しか解っのけめ、は床が方は本た。除いは助い	こべしの人りして言い熟。様ルた。起が、いいもをです。 トッ後、床 ※寝*様・様、・基	け時ををかえてき々す子コ	るが睡をより出に	動か続てているりのである。	とないをある。	に除 ト。 時 せ ン ず を 本間 て サ	のるば外に人、、ルビ言物たすのは外に日テを	かし、「人」とは、「人」とは、「人」のことは、「人」にという。これでは、これでは、「人」にという。	熟みにが子ン	施をてこ	ている ている り、 ² が出き テージ	るが、 る。解 本人の 来るE	で い い い い い に い に い に い に い に い に に に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。	時は高いました。	解えている でいる でいる でいる でいる に のに のに のに のに のに のに のに のに のに	てはない。	まずくなまでで	がいなく解も、実ででは、これでは、している。様ですっている。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、実が子きるンで、	
	拘束時間	Е	Е	E	Е	D	D	D	Е	Е	D	Е	D	D	D	D	D	E	Е	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D			
2	取組状況	後続頭あルがカ響いとっの。乗っか	、足たねり一定出る安静の。じ、テる学	が体が位それが閉ルたをが置のやが塞が閉めがいます。	が、くって、は、か、逆にカるに、健は、いって、こうこと、ほ	るしに、テこよ!東きって、な!導一とり!面るい別うる!尿テが、に!方	つご動 カ ル あい本い記さぶ伏 き テ に つい調い慮せ カ ーが身 た に しげ	や、テだ体の影な対	で除のに<塞よのあい後、体、すり、影るが 、すり、影るが	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	い削ぎ本は、ウェい世、東東を一、帯をるテがが、疾が面るに、動こ一、確が困が患に、方	かと テル認な難 には配ほしが ルさとない 繋ょ慮	てあがれながしなった。	うでした。ですがっている。では、例のでは、多様では、多様では、多様では、は、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	せい際で閉につがで全	除なのさき性のもったが	、こじて、あ、が外とれいがある必要	ゆがらる。 をあ、。。 器と 変る、関、閉じ系かい	える。紫塞紫塞が疾らなていりずすにかまった。	う行 、	った とい非が流面でなけるが、のからないのでは、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これでは、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが	せっく がのずい はいこう いっぱい いんこう でっ 能い 慮ん	着に テー に、	動かし テルの は 健康	し、うれ の開 を害が	うつ伏 く く く が確 っ る可	せに認され	なるこれる。 が高い	ことが 排泄 ・ 。 健	ある。 管理z 康面(。今は、本本のは、本本のは、本本のは、本本のは、本本のは、本本のは、本本のは、本本	

No.	じっしひ 実施日	1 E	5 2 E	3 E	5 4 E	5 日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日 18日	19 E	20日	21日	22日 23日	24日	25 E	5 26日	27日	28日 29	9日30	0日 31日
	拘束時間																												
3	とりくみじょうきょう 取組状況	ての。用す幹	できまれてきまれる。	き、海施、睡により	sip 朝 朝 ル 職 ル 職 ル 時 り あ ル は 時 り る い る り る り る り る り る り ら り ら り ら う う う う う う う う う う う う う う	かなれる リッチ かいました とう とう アンドル アンドル アンドル アンドル マンドル マンドル マンドル マンドル マンドル マンドル マンドル アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル アンドル ア	なかっ ナーの ムを把 こは、	た。使、握、体の	ての別用する	が眠、**本こトで*未んとを	はきを ひこまし、、たが手 のない りし	suppersists in the suppersist of the suppersist of the suppersist in the suppersis	せせい サンスプログラス アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・アンス・	なかっ ナーの なを た は は な	た。使、握、幹て	ての。用する	が眠、ほ本こトでは未に人とを	は、	が配せ、リッカスでは、 しょう マングラン アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アン	なかっ サーの はを把 には体	た。使、握、幹	まかれる この期間に 朝覚を は明します。 は用します。 は本しまます。 はなっている。	なかっ 人の 時にに	ったの 戦機 転時)で、 が が が が が	未実施 ズムを	。離床 ・把握す	セン・	サーのとによ
	拘束時間	В	A	В	A				В	В	В							A B	C			A	A	В	В				
4	とりくみじょうきょう 取組状況	のい床ない廃り中へ援い	が開く駆い こ 5, さい で 3 で 4 で 4 で 4 で 5, さい で 5 で 5 で 6 で 6 で 6 で 6 で 6 で 6 で 6 で 6	は食えずのが減に日は強いな事を接い後にははは強い	時、底、句で試化	いた いこ りょう しょう かいこう かん かいこう かん かん しょう かん しょう かん しょう しょう かいこう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょ	。 句 え 東 、 体 を う に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に 、 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に る に る に の に の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る 。 に る に る に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	し、就 し、東、施 支 い た	の元床なは廃り中元床で時が薬い止。	・ は で	がは、とうでは、などのでは、大きでです。 はいまい はいまい はいまい はいまい はい	・ 。等 」 けば日にみ	や、身 ど、取 い、強 い。 が は、 は い。 が は い。 は い。 は い。 は い。 は い。 は い。 は	うりん かいかい かいかい かいかい かいかい まいり いまいし たっかい こ	就し、東海施一就とせ	の。床 な。廃。中 な の 子時。薬 い止 。 か、移 か	、間、服 b 時 ・ 19 t 眠 5 行 ら ら ・ く薬 が間 b 軽 b 日 b 気 ま の そ の ま の ま の ま の ま か て す し か で す か で す か で す か で す か で す か で す か で す か で す か で す か で す か で す か で す か で す か で す か で す か で す か か か か	は は い は い い に い に い に い に い に い に い に い に に に に に に に に に に に に に	さらないで、変げがらから身ど。取る服にから怪つが体、、組る薬、かき我	『拘ら身みら後べりを『拘ら集体を、かんないない。 ない いっぱい	説就し、東流がかった椅た	が 引 り り り い い い い い い い い い い い い い い い い	つ 時 間 が 間 が 組 支 す	引・微度を をを をを	が、	候薬支 ビ、身 23, 2	表表 接時等 体拘束 27,28日	、身に廃止は、記した	たいこうそく 体拘束 ・軽減 ・軽減 試行的
	拘束時間	С	C	D	D	С	D	С	С	С	Е	С	С	D	С	С	С	E C	С	C	С	CC	С	C	С	С	D		
5	取組状況	認をでしく	じゅくすじ 熟睡 トして ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト	したいる。の話に	i い い い で に い の い に い の い に の の い に に の の に に の の の に に の の の に の に の の の に の の の の の の の の の の の の の	は、たない は、は、1 は、1 は、1 は、1 は、1 は、1 は、1 は、1 もないと こ	冷べル したで 人 を よく確 とく確	ノト 勤時 認	をルる動が確と	遠認をでし、 しず外も、 でし、	(8,9, き) と (8,5) と (8,5) と い の る う行	た た る。 は 睡 眠 だ け だ け	が 皆で、 11日に の状態	たいかん 体幹 は、1 態をよ	べ 人 夜 く	が に べ *を ・を が で *が で *が で *が で *が で *が で **が で **が **で **で	が確トでいる。	(15, 16, 1) シ熟睡した いる いる いる でを試行。	だ段 6。20 垂眠の 解 ご	で、体 日は、 いた いた いた いた いた いた いた いた いた いた いた いた いた	幹に入 1人 よ	2人を 変勤時 たで、 段階で、 は、1人で は、1人で さ、で さ、で さ、で さ、で	本幹へ 動時 るだに	ジルトでもに	トを外し を外してし 本人の	ってい 睡眠(いく取	る。24 の状態を なり組み	, 25, 2 Eよく	27日

No.	実施日	1 1	2日	3 日	4 目	5 日	6日	7 日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日 31日
	拘束時間																														
6	取組状況	1 ±	1 . A etc	まうしゃ 乗車が ルたいこう 身体拘	アく	みじっ	1.		き か	んし	まうしゃ 車が ルたいこう 体拘	そく	みじっ	ので、 施。	٦	き か	· 6 L	んたいこう	そく	った <i>の</i> 未実施			くるまり 車椅- で 東はま	2 1° ~ 1	1	ヾなか	へったの	ので、	この	期間 <i>0</i>)身体拘
	拘束時間										A																				
7	取組状況	う この		身体	拘束	は実 [®]	をして	1.1	め、が、パラ、	、	がにべいばん 最低限 った。	ルト: の短に 本人:	を着り時間にかった。	安するのるののでは、	。 よ 受	この		身体	拘束	は実施	して	い	この	期間、	身体	为表	の実施	をはな	ふかっ	た。	
	拘束時間	A	В		В			В	В	В					A	В	В	С	В			В			C	В					
8	取組状況	拘りる。	もあり	ついて り、使 自 る。	用を	^{まいぞく} 継続し	してい	· -る	拘りる。に	もあり	リ、使 ^{みずか} 自ら	用を	けいぞく 継続	また人とう	`	拘りる。	もあり	り、使 ^{みずか} 自ら	用を	ルトは 継続し て、行	てい		.5. t-	継続し	してい		1. + + 1	フェードス・	1-1-2	~	5り、使 売動する
	为表 () 加 加 拘束時間	E	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	Е	Е		
9	取組状況	練がいすと	*行・戦・	りょうしゃ 利用者 ちょうじ 長時	。ま守るが下た叩	ゆ、 ^ s 中、 d つす · く、 d	ドルごりに	をてをこせ	た練は外いする	き行、が・あつき職、た他り、	いる。類が見ばれる。	。 ま守る *守を たい たい	中、ゲ 中、i 中、i ろす く、	が する ・ と を が が が が が しょ傷 う せ	をてをこ	た練がいるる	*行、が・あつが、が・あります。	いる。気が見いれる。	。 き守ををかれる。	りゅ中が中ろくルて、ベ・遥・とを	ドル ごと自 いま	をてをこ	る。「してい	日中、 いるか を叩く	ベル バ、ズ 、と	トを ボボン	がし、 ・ を下れ	職員 3 す・	が見 じ自傷	。 守る中 をする	ってい ってい っ っ る・他 ら・他 ドルトを

No.	じっし ひ 実 施日	1日	2 日	3日	4日	5日	6日	7 日	8日	9 日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日 31日
	拘束時間	С	С	С	С	С	В	В	С	С	С			A	В	С	В	В	С			Α	В		В	С		Α	С		
10	取組状況	づき、除に、	、 安 取り が の 抑 も	い 計 ル に い も た は も た 帯 に む た 帯 に も た に も た の た の た の に の に の に り に り に り に り に り に り に り に	うい 記し、 とで、	て、打 、朝1	マック (が解 タ タ	づき、除に、	、 変 取り が の抑 も	たに留 は したこ	意し とで	て、打 、朝1	アルに いた が も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が は も が も が も が も が も が も が も が も が も が も が も が も が も が も が も も も も も も も も も も も も も	が 解 。夕 て	づき、除に、	、数字含 取り約 の抑制	ん 全に留 且むこ	が記して ことで、	て、 ちょうし 、朝丘	アルが帯がますが	解 タ タ	意し	F c	くせいたい 制帯 くせいたい	解除	に取り	ノ組む	ع ت	で、朝	ででん で全に留 うしょく じ 自食時・
	拘束時間		С		Α	D			С		Е	С						С								С	E		С		
11	と り く みじょうきょう 日7 夕日 小子 こ	また。	2月5日 ベルー	を な、 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 に。 は、。 た。 た。 に。。 に。。 に。。。。。。。。。。。。。。。。。。	発作 発作 類し	が多う た。f	。 発した 他はべ	のいん	ので	、ベノ	レトを	しょう 使用	したが	うあっ! が、他! せてい	は	で、	ベルト	を使	トち	た。作	あった 並はべ いた。	ル	した	・26日 ので、 ベルト	ベル	トを	しょう 使用し	った。 ・			で移動

拘束種別: やむを得ず、手指の機能を制限するためにミトン型の手袋を付ける

実施月: 令和4年2月の実施状況

こうそくじかん みきにゅう みじっし ぷんみまん B=30分以上 1 時間未満、C= 1 時間以上 4 時間未満、D= 4 時間以上 8 時間未満、E= 8 時間以上24時間未満、F=24時間

	押り	東時間:未	「記入」	よ不夫	·加、A	一 30万	一个一个	<u>, D—ა</u>	リカメ		刊刊不不	り、 U —	-	<u> 則以工</u>	4 呀 =	リ不冲、	<u>ν – </u>	+ 呀 町	以上8		下冲、		可旧り	<u> </u>	寸 1) 不	冲、 「	— Z4時	[月]				
N	0.	じっしひ 実施日	1日	2日	3 日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日 31日
		拘束時間	D	D	D	С	С	D	D	Е	D	D	D	D	D	D	D	С	С	С	D	D	D	С	С	D	D	D	D	D		
	1	: りくみじょうきょう 取組状況	*夜 ラ、入 る、除は図。目と が間 イれ。 するが指	ンにブな液る。し組解設にが潤っている。なむのでは多いにもなった。	けん参うはい後がたが加、、でもらい自い入、、、	についる。場の、既の解し自らの中で気に行べ後に除るのとのである。	は A分 A為に B時 三行 to A を転の こか間 が為ば あるば あんげん	『牧の奥が圣 ト の の『歩 をが減 ンが拡が軽が	ドリ☆図☆解をを	、組一除がをより、後、、作うオ	ンをに、続る、ル、に、継、いこは配き等、取りまる。	くたが目 ここに 最 そうす らぶ見がしい利く のい受めなり用	。髪けっがし、 がんたら、	。中 b毛 れ 。 、 b個で 、 を 、 b怪は本 o別 、 が と 、 bでは、本 o別	ミな、頂き投え人、舌トく。皮がの。動いが行にない好を	りが解き動き傷いむ。中	ののり。周。動つを時使、通りがな。考え	治間。用。活の。増がまきを変動。他える	**多、怪、災、川 こ こ よく、減、外、用 い め が・持 し の・者 る 、 ら	う行ってで時の。こ今、なこいが間が髪は受べ後が解	とる。帯の。傷もいで、には毛や自	ミッ月 としく しゃちょう にょり く にょりく にゅりく にゅちく	ンは入 やら行 もで全	しのと流	いる。 ず覚 あっま を る も	で定しっていてによって	で の が 覚 が は は は は は は は は は は は は は	は時間後に、対象	をは自 やは向かる よう	、保証のおり、「保証のでは、おうない。」 こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう はいしょう はいしょく はい	きただ につだ ブ等、 とで、	みが、が、好じ自 ・継は巡る。 かがのの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
		りそくじかん 拘束時間	Е	Е	Ε	Е	D	D	D	Е	Е	Ε	Е	Е	D	D	D	D	D	С	D	С	D	D	С	D	D	D	D	D		
2	2	取組状況	傷が	をにいな解したが、	より、 た。治 けいぞく	噛ん 遠う	で受修 ゆうせん 優先し と	うする し、短	音の うこ	流右 ^で 続こら間 で手いとなの。	**制**親 て を い*解 り **限**指 い 、繰*状*除、組 を さ た り**ジ き む	きぬが同しが治り	、じて療がおを	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	るず易べ治にた短いた。	がるた至は時に減	*傷を あぬ見い あまり	*気きたり*の	っしょう ないない はい	るむは血に護が間にとこさをでい取	とや、 せるこ 行、短く 短く	が か い い い い い い い い い い ら の の の の の の の の の	*傷・、い解・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が 掻き た。: る。	こか 壊すれ ちりょう 治療る	う為が を優先 売く	、あり こしな。	、傷が	が悪化 たんじ 短時	でする かん 時間の	ことだ 解除る	ですの傷を があって があれる が を が が が が が が が が が が が が が

No.	じっし ひ 実施日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日2	2日 23	3日 24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日3	1日
	カ東時間	D	С	С	С	D	D	D	С	С	С	С	D	D	С	С	С	D	D	С	С	D	D	D D	С	С	D	D			\overline{A}
3	とりくみじょうきょう 取組状況	よ除 ちょ人を提 すら有 し しい着 がら供るス 、い	、いが少)が取べが周が日てなをり一が囲がりがある。	が上過い、別、狙くりが一にごが状、意みでは人が時ではが、しをが過へば的	いるで、は継ごのてが環、が解え続すが掴い	にはは境が音が除しが時みが動き、(が楽が時でが開かが制	「本食・治り、帯から人」堂。雑をる、りがは、説ががらいま。がいいましまがいます。	が うり となる ままれる まま で を が大 ま共 な 番 げ 激 しまる	を強く続む間り	は除な内では寮た他、は一、時、のでは解のは利が指は時のは利が指は時のは利が指は時に	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、ののペ歳 る? (個)提が、一)員)行いる のののでは るいののでは いまい こうしょう こうしょう こうしょう こうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょう しょう しょう しょう しょ	「引き共兵スへら為なのをにでのが、明をにでのが、」のが、「こうないが、」のでのが、「こうない」という。 おきのい こうしょう こうしょう しょうしょう いっぱん こうしょう しょうしょう しょう	文学で、又、固治国は数で歩いりごみしている いいりいかい いいい	ン、緑組が時から時で	は、個の一條、周をへる我、別が好き時が囲をの。を	ミ*散む*間のけず叩、故*負*際ト*歩*活の5人、き*意わは、	というかないのものでは、それをお音をが大い動が奮が掴はるが一とは、多いのでは、これをは、これをは、これには、これをは、これには、これには、これには、これにも、これにも、これにも、これにも、これにも、これにも、これにも、これにも	『えばない ひこま しゅ にのずずり 『浪で ので いっぱい で か くっ能が で いまが せ *聴、入 り *騒が際 か 、 *性 に	ずくれ、組がにり。周がこれなむし、が、囲ぶ高される。 るま原り	き過ぎらが きょりえもの いいご 、らい寮 にりらら人のはする本 、な内が影のれにで		い は は は は は は が は が は が は が は が は が に れ が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に に が に に に に に に に に に に に に に	や。帯かかを、少解っていり、実な、除い、やが、施い。時にいいい。	三興 、は激 した環なな奮い指 し てら境のい のい	やな捻い際るな中がすじ、。	くるが、関係のないでのなり、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	り 利 が に の 治 音 も で の 治 発 来	者るト歩の	は は は は は は は は は は は は に は に に に に に に に に に に に に に	か

拘束種別: やむを得ず、行動を制限するために介護衣(つなぎ服)を着せる

実施月: 令和4年2月の実施状況

こうそくじかん みきにゅう みじっし ぶんみまん B=30分以上 1 時間未満、C= 1 時間以上 4 時間未満、D= 4 時間以上 8 時間未満、E= 8 時間以上24時間未満、F=24時間

	リスは同じて	トロレノ		カビ、ハ			D-0	U/J ///.		ココントル	4) , 0 —	1 1441日		<u>구 h스 l b</u>		, v— -	+ 中寸 [日]	<u>М</u> Т 0	h 4 1 1 1 1 1 7	个心。	L — 0 i	可问火.	上 Z Ŧ Þ Ṭ		-J 、 I -	— 乙十 4寸	IPJ					
No.	じっしひ 実施日	1日	2日	3 日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日 1	1日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日 2	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	拘束時間	E	E	E	Е	Е	E	Е	Е	Е	Е	E	Е	Е	E	Е	E	Е	E	E	E	Е	Е	E	E	Е	E	E	Е			
1	取組状況	てき着がまる。衣とき行き拒をレる、ま用、っき機が類ズっき否き着一	5一 しま本 て、会 の ボ て が て、人 て、人 い を、着 ン い、強 、 の を り に る し、 図	ざいりると買う用こるいと園にす過ることを連を賃がのを内を慣ごがたが活さき目れ、でのれ	のすいわりませるト、動で質がいりなり、したりがります。	に、東と、容、拘、め一、束を、洗衣なと、東トのナムな活行い、洗えています。	うののい つっぱいく ノッと ー りっと 東、用 て、服、以 一、援ぶ等が中 、、、、 改、自 し を、外 ナ を へ に ト	を体。着の一の派と支	てき着がまる。衣とき行き拒をレた、ま用、っき機は類ズっき否き一	5一 しま本 てい会 の ボ て が てり人 てに人 い をき着 ン いら強 、「る」りに の る。厚い月 に る しょ図	ごいう。道見のい道にらればいる。 三連を慣がの物の物質。門ごがだがる。目れ、でのれ	すべりがめせがるトが数に、すりが内、したりが拘ぎ	こうだい かっこう こういい いっぱい いいき かいしょう かいしょう しょう しょう しゅうしい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	うりとう ひょう アステーツ ハミ東は用 ては服は以 一は援き等が中 、い衣に自 し をは外 ナ を へ に ト	を体。着の一の派と支	てい用がまるがなとが行が拒をレっ、し、つが機が類ズっか否が着一	5一 て産本 て、会 の ボ て が て、人 いに人 い をき着 ン いら強 、の を りまり に そ しき	ごらうら関列こらい週こす過がこの強要を慣がの物内質ご、だが活さず目れ、でのれ	ずが わき動 せき指る ト、き散い際を束りが内、したしが拘ぎ歩	に、衣と、容、拘、め一、束を、拘禁がなと、束トのナ、衣、行	で上い東に用って羊が女 ノボ女 ー の ハ よとが衣に自 てぶ服が以 一々援が等が中 、 うし をが体 し をが外 ナ を へ に ト に	着の一の派	*際が、*内、衣る、拒、散えに、、。容、類た。否、歩	、異、流本とのめがをて、食がりが入が、神の、強が、神が、神が、神が、神が、神が、神が、神が、神が、神が、神が、神が、神が、神が	えこをを援た、をだ。着。目をめト	s着わる。指流行、 別機しつ。拘	しと、会、て、東てなをトい、衣	ハっ関ノるのるで連一が中なりはさけ、	、ませート、 物っ、とし飯	*東で物ズーを洗れい。東ボナ・着	を着るいなノーでは用いいは、以には等え園では一つが、外は関いないのでは、	体動のれののこ

拘束種別: やむを得ず、支援者が自分の体で利用者を押さえて行動を制限する

実施月: 令和4年2月の実施状況

こうそくじかん みきにゅう みじっし がんみまん B=30分以上 1 時間未満、C= 1 時間以上 4 時間未満、D= 4 時間以上 8 時間未満、E= 8 時間以上24時間未満、F=24時間

---------------------------------------	東時間:オ	尼記人	は未	美施、A	=305	7木満	$\mathbf{S} = 3$	30分以	上一時	F间未测	莇、 じ=	- 1 時間	以上	4時間	引禾満、	$\nu = 4$	4時間	以上 8	3時间	<u>木</u>	F= 8	時间.	以上24	時间木	<u> </u>	- 24時	前				
No.	じっしひ 実施日	1日	2 日	3日	4 日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日 1	2日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	5 22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日3	31日
	拘束時間																														
1	とりくみじょうきょう 取組状況	あた環か課は廃る	た。対整備が提供	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	安心 安心 以外 るな	してi で楽	が過ごせ しぬる 身体抗	はる。日本東京	あった環境。課の	た。ig e c ig ig ig ig ig ig ig ig ig ig	き室*居。努 に 変素を は に の の の の の の の の の の の の の の の の の の	拘っている。は、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないで	てが楽し	らごせ しめる 体体	る。日、東、施	ある環境で表現で表現で表現で表現である。	た。紫備な提供は	宝宝 宝宝 宝宝 ま居。努に で、室め。向	安心 安心 以外 るな	してi で楽し ど、	変換し物を	る。日まな可求	心 し 課の	て過じ でいきょう 提供/ とりく	ごせる こ努め	かんきょ 環境)るな いぞくちゅう	を備り	*** た な 体 か な な か も も も も も も も も も も	いがい 以外 そくはい	で楽し いし	室で安める日瀬に向
	カ東時間																														
2	とりくみじょうきょう 取組状況	あっ こと	た。 が出	、身は、水は、水が、水が、水が、水が、水が、水が、水が、水が、水が、水が、水が、は、水が、は、水が、は、水が、は、水が、水が、水が、水が、水が、水が、水が、水が、水が、水が、水が、水が、水が、	^素 落ち り、	着い [*] ホー	て過こ ルディ	゛す	あっ	た。 なおり	。 落ち着 リ、ホ	拘束にがしてがた。	きごす	ナこと	き が ご至	あこが1り少つとあれる。	たがって がって で 性 たった 作 作	ことで前か後、	森落 た、瀬流 一	着 2 作 が な な な な で し が か な で が か か な で し な か か な し な こ し な こ か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な し か な な な し か な な し か な し か な な な し か な な し か な な な な	寒で雪あい子ン 施過にってはがのないがある	ず作いなる。	て過る場	ごする 面は ⁷	ことがなかっ	が出来った。	ており 20日	り、ホ	ール 作後	ディン	き着い がだ至 ・を見て
	拘束時間	A	Α	A	Α	Α	A	A	A	A	A	A	Α	Α	A	Α	A	Α	Α	A	Α	A	A	Α	A	A	Α	A	Α		
3	とりくみじょうきょう 取組状況	み、援か、他てなホて、施なをのっ、者いが一いし	寒ほて(るらルるたが施と来職。、デ。が	- 『廃』中んる『員『本』支ィ4、し、止でどこ)『人》援ン『日』小て、	るは場がの診訴がに、をするが面ある粗えつが至り自っ置い	こでり。暴をてる飯くの、、行訊い場機ト	。期機であいる面質レ 間質こがたがが課イないがおいかのである。 これがいいではないできません。	さいがし い寒 位	み緩か他てな	『実ほて(るらルがんと、来』職。、デ	ずどこ)人援	がのがあれてにずる。本語のである。本語のは、これのは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	の、、行説いる	調義を為いる。、にか続いい、にか続いい、	支向らいしい	み援か他てなったがが	『実ほて(るらル『施と《来』職。、デ	でどこ)人援をのとへのを	る場がの流れなったのかのないである。これののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	こでり。暴をている。	ー ナッ朗 織 そぶ為 ハる 衛た 間 漫 こがたがががいないがい	支値らいし	る。向へりグで	こった粗な流至。看のて、暴がる、護	朝、来、行ら、湯、師、間る、為、、一流面が、こか、支がり	支と流んと流んできる。接がいをいをいるい	のあて流行で実	とんど るこう るい るこう たが	のか人がら、	が 面で、 で、者 で、者 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ず中が職が、デスを面では員が員が、サインをでは、ランドのでは、アンドので

No.	じっしひ 実 施日	1	日 2	にち 日	3 日	4日	5 E	5 6日	7 E	3 8 E	5 9 日 9 日	10日	11日 1	2日	13日	14日	15日	16日	17日 1	8日 19	9日2	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日 31日
	拘束時間																															
4	取組状況	あか環か課は廃	った。 境整 の提	。が備が供が軽	室は居らめた	安心 ジッグ外 のるな	して で楽	実す過しず身みでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	せる。日で東の	あか環で日く束し施ない。	Doust R L R s P s R Double B L R L R s P s R Double B L R L R S R L R R R R R R R R R R R R R	当の説は、そののでは、居、努にが減った。	安室 めが向 ラ海 めが カルタ なた ラあ	てでどれるる	・過ぎく担ごがごしら身みの、せめばををますが拘	るる評判で実きで	あた環に日く東く東に東に	た。 き を が を で 提 は は は は は は は は は は は は は	が 身。室 、 に が な は が な き は が る 。 と に が る 。 と 。 と う 。 と う 。 ろ う ら う ら う ら う ら う ら う ら う 。 ら う ら う ら う	安心 室以外 めるな	て過れて変え	らごせ いしめ いなたいる 身体	るる。	心治時かき	て過じれる。 の提信 た取約	ごせる。共に努力を動物に	対環境と変めるために実施	整備 など、 中で	や、居 りん 身体 ある。	室以表表	が 外 で 連 ・ イ ラ 見	を しな でが が で めが減 の るに ま大 こ
	カ東時間																															
5	取組状況	「 る 「 の	ふ不 」 沿音 *切 に 数安と ※楽り つ	定いを静っく提え	には、た場供を	、 満 る る こ	室切とと	実、移。替っ、流行にある。 すれ。 またり	ナ さ、 (デク) (本) (本)	「イる」 「音のも	が開始をとう楽りつ かんが かんが かんが とう とう とう かんがく かんがく かんがく かんがく かんがく かんがく かんがく かんがく	けた。場には、場が、場合では、場合では、場合では、場合では、場合では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	、	こり いで、	多動する気体	、済が拘い	「る」。音切の	*安と*楽りで記している。 と*楽き	は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	を動ることと	へりいで、	動すた気体	、 分 拘	きょしつ 居室 「音	へ移 薬 楽 を え と で、	。 動する と 提供す	。 る」	いった	た場面 った気	iの切 i分の	1 3 /	
	カ東時間																															
6	取組状況	い身ミか環が活でと	た 体 ユ よ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	*東ケ*提の*体では、一*供が提が拘い。	ス未 シ 」。供で東は 東 ョ な とは廃い	がある。これが表現である。これが表現である。これが表現である。	「 「 あ安 を い を が を が る で る で る で る で る た り る り る り る り る り る り る り る り る り る	- グ資をできた	かた。生生	し身 ミル環が活 でとり こまばかり	- * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	は 一つ供い是う句の水未 シ 」は供え東は、実 ヨ な とは廃め	が施っている。「これのでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	いります。これはいることは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	うきょう きょう	コた業生た	しり ミル環の活 でとか環が滞 、く	いわ このではいり が東 ケッ提 のが体で がなりである。	ホッ未 シ 」。供ぐ東 b施一 かま シ 」。供ぐ東 b施一 の と は廃 p中 の と は 廃 p中 の と は 廃 p中 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	施。 」、後天上、 一、 「 た 安 を 発	は職が落し心な行が	とっ着きこれ	った。世生	施。 た環 と支	「職員の担	うとの とき とき とき とき とき とき こう こう こう こう こう こう こう こう こう こう こう こう こう)コミ など ことで	ュニ あんし 安!	ナーシ 心でき	ョンなり	·」「落 › かっかんきょ :活環境	が は ま う う う う う う う う う う う う う う う う う う

No.	_{じっしひ} 実施日	1日	2 E	3日	4日	5 E	6日	7 E	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日2	1日22	日 23	8日 2	24日	25日	26日	27日	28日	29日 30日	31日
	拘束時間				A									Α															A		
7	取組状況	は備が味もが拘り実はしい。 はいでは いいまれる はいまれる いいまれる しょう はいまれる いいまれる いいまれる いいまれる いいまれる しょう はいまれる しょう はいまれる しょう はいまい しょう はいまい しょう	「心、、、」廃し。物う	ちが持い療・説概の清てとい軽ねが拘りるので減い姿を	いるが成分リンでも、連に定かで、衆の、携が向しら、	しのにけて、短いな。提よたい一破時	が環 たき供 りを取るを壊が間 め 」、 ※組 。 5行 で 4 ま 4 ま 4	ことがをもりをはいる。	は、は、地で、は、場のは、は、場のは、は、地では、は、地で、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	に「心、強魔し物為ルな。落を強し、大魔し、物為為ルな。落を強い、へがデ	らいきっきょう ひがったいる のが減が安り た	ても強に定かの強いしらで	しかにけて、、かりでは、は、は、は、は、は、は、は、い、職が短い。	た。共り、収る資かの、人類の、人類の、人類の、人類の、人類の、人類の、人類の、人類の、人類の、人類	*!興と、体を、日・粗	は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	「心、性発した	ら 持っとい軽 るべい る のが減 こ	ている。ないでは、	しかまけられません。	では、リッタ このでは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	戦とは本を には日	しむだった。 に、「 うけだな、	た。 医 た。物 で た。物	にとる組のが	うな味が連をりまります。 かいまま かいまま かいまま かいまま かいまま かいまま かいまき かいまき	心に施ら、	ノ、身 概ね 戦員へ	もた。 体が数 安 の の の の の の の の の の の の の	「の『束し』暴を落機。上い『為』施を『供』止い『為』施・るが、	とと 軽減 。28
	拘束時間																														
8		「整とした」	神科、「いた」	医師と日課や	*連携 *連携 *環境 ** 正 •	した。	実験を整した向け	まう	「整とした」	が開かり、たり、から、神のでは、から、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	を 記される 記述で は の で た に た に た に た に た に た に た に た に た た た た た た た た た た た た た た た た た た た た	連携 連携 環境 上·	した別の調整	となる。 収薬調整」な	引 に ナた	「雑れ」、	で 神科圏 、「E 身体が じ	を を は は は は は は は は は は り は り は り り り り	かんきょう 環境 <i>(</i>) 止・車	した肌 た調整	を 施 を薬 薬 な に かけか	携	した	服薬	調整	J .	「日記	果や環	境の	を実施中である。 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000	き.
	拘束時間																Α														
9	取組状況	で的で機能が開いた。	。 伝え 」 けた ら、	る方法 ど、 取組み	。 ル た 体 ト を 実	「生 生 ! 東 し ! 施し	ー ルッ活に上 てき拘った できます ・ いぞ束	う の 経 減 る こ で た に に に る こ こ に る た に る た こ に る た る た る た こ に る た る た る た る た る た る た る た る た る た る	的な機能の	けた ら、こ	る方法 ご、身 又組み	」、 体拘り を実施	「生はだいない。」「それには、「それには、「ないでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	っかん ま ま ま よ ・ 軽 て い る		で的整に全派り いこの (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の	たると、取りは他が たなた落。不り があり、	方、狐 あんりがん 流法 身みいがに	」、体をて、。向 にいる	「東施しの一次を開発している。」では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	レ流話ところをでいる。 おおおり はにたを がいした かいしん かいまれい はいかい かいまれい はいかい かいまれい かい	ので、「は、なって、は、なって、は、なって、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	」、 減に	「生 ず 向け	かっかんき 活環 た取	境の 組み	整備」	など もして	、身	に伝えるなり、大体拘束条件	ELL •

No.	じっしひ 実施日	1日	2 日	3日	4 E	5 日	6日	7 E	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日 2	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日 31日
	こうそく じ か ん 拘束時間	A							A							Α									Α				Α		
10	取組状況	た調にはンが対が換い子が至れ収グが応を	がるまをに続け	が、職ず・施い、り、員、って。併い、る、短・落、、も	た対う交で時ちなんておれた代が限った。	しょ職しのい職が不とては員て木で員で木では	へも一ヶ過とにの、ルご遠答	が害い害・イる。交流前	き調には ンが対して は グが応	がるまをに続いる。より、	が、戦 げいもい りが員 、 を、短れ落 、 せ	た対う交に時 ちが応て、治応な代が間、着を接、	職 しのい職派 て ホ て 資調	もしず過とこれが、からないでは、からないでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	、 い害い害 イるう交流前	の。実はなが調が用ら姿で、施、が通か、者ず勢	、し他らららへ、で動たった。利、な、の気が対をでいる。「月」作した文を作るができ	清 う用、固い、対、也、分っと。冬流間、午、者、別こぶ応、害がすえの、後と、対と、職が切る、	ホのの源のや資ありこれのの源のや資をしている。替と	ルーミ活シ実シ急シ居がわでデムシ動シ施なタ合、る、シ	がイ治の象。中気の時のストーがイ治の多。治分せ間をムるったが一、日のが治療のたに持一、日	をき動けら求、変い利き拘っズ	ホシ動がめの治害をは一は流に治変が持	ル、を調あった。実がある。姿が、ある。	ンが用が中、、、でが、一方が者。。が対が時が対が	をとう要が応え間が応実のが求い職にす	施生が過ぎ物の活動を	こうかららげていた。 は線なる合、でいた。	後分こせ分スのけとたがム	ホームない。利力を対象をは、対している。	時が内、なへわ活の流流が外が他のを
	拘束時間																														
11	取組状況	ホーた。	・ルデ	ィンク	ブ対応	ない。	無かっ)	ホ ー た。	ルディ	ィング	対応	は、チ	無かっ)	赤一 <i>,</i>	ルディ	ィング	` 対応	は、第	無かつ	t:	ホ ー.	ルディ	ング	「にい こうどう	の組み たるま 制限に	ミでの.	パニ	ックに	うり、 こは至っ
	拘束時間																														
12	取組状況		ホー			う 過ごさ がは、			つい	求に』 たが、 覚に』	おうないである。	ち着 や、 示を	かなし 文書 する「	ハ状況	がし、	1	ホーノ				れてい	い		、落ち、行つ				こてし	いる。	ホ ー ル	·ディン

N	0.	じっしひ 実施日	1日	2日	3日	4 日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日 2	29日	30日3	1日
	j	りそくじかん 句束時間										A																					
1	3	取組状況		。ホー	**落ちデ				てって	が体が族が解のまず要をへをか中いが因れ	*押。報。得の、	えし、ドトードトドトドトドがれ、タにド戻い	でルフをなった。	とデでがかる。	きょう正弦に数め。がしっこ歩りごの、てと対	京家 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で		*** *** **・ホー					7			************************************	,			ている	る。 オ	≒ール	

拘束種別: やむを得ず、自分の意思で開けることができない居室等に隔離する

実施月: 令和4年2月の実施状況

拘束時間:未記入は未実施、A=30分未満、B=30分以上1時間未満、C=1時間以上4時間未満、D=4時間以上8時間未満、E=8時間以上24時間未満、F=24時間

11	1木吋间. /	トルハルイ大心、	ハーリング不過	, D-3071 k	人工一时间不	<u>, ДШ, С — 1 і</u>	可问及工生	可间个侧	、 D — 4 時间] <u>以下 O 时间</u>	小厕、L— 0 時间,]以上24時間未満、1=24時間
No.	実施日	1日2日3	3 4 日 5 日	6日 7E	5 8 日 9 E	10日 11	日 12日 13	日 14日	15日 16日	17日 18日	19日 20日 21日	日 22日 23日 24日 25日 26日 27日 28日 29日 30日 31日
	拘束時間	A A A	A A	AA	A A	AA	A	A A	A A	A A	A B B	B A A A B A A
1	数組状況	「	。活、、組、はがは入った。 のは体をはる。 のは体をおる。来う。 はのななといった。 がはまたがでという。	」は廃り中に、※落るるい、「止で、支ち。これで、支・着が他と、が関い。利が間が軽、のい。利が	と導のが減る。受に、良すのが入が解に、けい入いいる。 けい入いる こいる にいる いるの こりが はいる にいる はいが はい といる はい はい はい はい はい といる はい	# # # # # # # # # # # # # #	よの体をよるの、部ででたう。導動に実きが、受や屋で時によるが、受や屋で時のイン、検索が、はいいでは、は、は、は、では、では、では、では、では、では、では、では、できばいい。	できる。支がはう。治験をある。とのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	ジ導の が入い解に の が入い解に の が上に がした の がは、 がは、 の がは、 では、 がは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	は な た が で が で が が が が が が が が が が が が が	うら導う物に実っ受。 るるら必 マーや夜・ が上で、れいで、和いで、和いで、 で、れいで、神のが、 で、れいで、神のが、こ で、れいで、神のが、こ のが、間が、これのが、変が、利が、こ のが、自然変が、利が、こ のが、自然変が、利が、こ のが、自然変が、利が、こ	「見通しを持てるようタイマーの導入」「余暇活動の導入」「夜間の解錠」など、身体拘束廃止・軽減に向けた取組みを実施中である。他利用者の支援の都合で、30分を超えてしまうことがあったが、本人は落ち着いて過ごすことができている。他利用者の部屋に入ろうとすることがあり、短時間の施錠が必要なことがあった。
	拘束時間	E E E	E E	E E	E E	E E	E	E E	E E	E E	E E E	E E E E E E
2	取組状況	は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、か、活は、、人が、は、人が、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが	が減少。 間が減少。 れは、良好 た。 はたとう はたない はたない はたない はたない はたない はたない はたない はたない はたない はたない はたない はたない はたない はたない はたない はたない はたい はたい はたい はたい はたい はたい はたい はた	ており、 である。 ては、サ でいな	まゆうはん人だ みら討らが かんだ みらがしょ かんだ しょうしょう しょうしょう	一般 一般 は に は に は に に に に に に に に に に に に に	では、 このでない。 こののしが好い イリック・良い イリック・カック・カック・カック・カック・カック・カック・カック・カック・カック・カ	らり、 うる。 は、サ レグを	まゆうはん人だ みら討らい からしょ からしょ かんしょ かんしょ から	は は は は は で が が	しょう ゆっしょう かでおあい。 でおあは、グ はい が中でもある、 が中でもある。 かでおる。 かでもある。 が中でもある。 が中でもある。 が中でもある。 が中でもある。 が中でもある。 が中でもある。 が中でもある。 が中でもある。 が中でもある。 が中でもある。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきになる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がきなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもな。 がもな。 がもなる。 がもなる。 がもなる。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がも。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がも。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がもな。 がも、 がも、 がも、 がもな。 がも、 がも、 がも、 がも、 がも、 がも、 がも、 がも、	の交換のタイミングを検討している段階であり、
	拘束時間	c c c	C C	C C	D C	C	C	O C	C C	C C	C C C	C C C D C C
3	取組状況	「(落ち着いた物は、身体が、り、組みを、は、、組みを、は、が、と、は、のは、のでは、が、のでは、いたが、のでは、いたが、のでは、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いたが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、いれが、は、は、いれが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	東陸・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・	が向けた地本人のかまれる。	など、身た取組みないが決けい状況にいた。	たいこうを 体的で実 が東」を を 、他 はいき という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。)、 を で で を を を を を を を を を を を を を	ti向 の か ま大 は ば に な ば に に に に に に に に に に に に に に に に	など、身を取ります。	た物で、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きない、大きな、大きない、大きない	をでした。 をでした。 で軽減にんののができる。 である。 である。 できていな	廃止・軽減に向けた取組みを実施中だが、本人の すいみんじょうきょう 睡眠状況や、他利用者の落ち着かない状況にも影響されやすく、大幅な拘束時間の軽減ができてい

No.	じっしひ 実施日	1日	2日	3 日	4日	5日	6日	7日	8日 :	9日	10日 1	1日 1	2日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日 21日	22 E	23 E	24 E	25 E	26日	27日	28日	29日3	31日
	拘束時間	Α	Α	Α	Α	Α	A	Α	В	A	Α	Α	Α	В	Α	Α	Α	Α	Α	В	ВВ	Α	A	Α	A	В	С	A		
4	取組状況	ものな体をでいるが、体が、工い物は継が過い	いき大きを続ごる。大きないのでは、一般では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	はたいとう かんがん しゃ聞き軽るが	う動、の流。で出ま・「解に終来で、解に、終来で、	らず はいい ない な	で、「は、」、「、」、「、「、」、「、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	か方と身みいく束い	ものはををていた。大きなのは、大きなのが、大きなできません。	いったくをはずれた。これを表していません。	が暇ぐ着ぐ夜・いといっ活し、間、軽るがまるがま	で が解 に が解 に が終 ・来 で と で と で と で と で と の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の で の の の の の の の の の の の の の	動のたれ落り	のようながある。	か方い身 み いぐ束	が解に 20 響 見 りかい ら、	」けに19れか他であるた。発に発い日、のでのである。イカがオッチ	りねが らかをいれた みが見 イが定さ者が	体をらうにのがれまれる姿質	東施たうる全族しがすこの	「上てるとうの後夜・いそ様がめて間」軽るのする。、いいいでいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	た体 るう拘み間、	で、東は終い時に野の大人の東は、東は終い時には、東は、東は、東は、東は、東は、東は、東は、東は、東は、東は、東は、東は、東は	、止、も、鎖・整、クロックでは、 ものでは、 ものでは、 ものでは、 かんだめの	いろ よい対応が減っ着 いき応じ にまる	向けが いて過ご までが	はずり移ては、組こしい。	みを ³ とが てい たと	*継 [®] 出るころしてこ、	おり、
	拘束時間	Е	E	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	E E	Е	E	E	Е	Е	Е	Е		
5	とりくみじょうきょう 取組状況	みご行をがしま	漢をしき機られてい日は、一般のは、一般のでは、している。	が返るを込めるしと込	「軽る。実これる 施ろたこ	デしが中 である。 ()	ドロ課 で、 う。 4 E	組の評した意	み、試が価にがある。行を・予でを・予しずを・予で	(単位) に、とば、神りに入、	・あしとた体か	る。 。 。 た施 ろ 、 、 、 東 の で 、 で 、 の	しるある。	いかったいは、いかったいは、いかったいは、いかったいは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いからのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいのでは、いいりのでは、いいりのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは	の 。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ に 実 に 減 に に に に に に に に に に に に に	みがいでいるなが	実施・余がったのかはこれ	りで あ 設に関う こ。(るが、 する: *居室!	、この ものだ 内で耳	ナた 取 が し が し が 提 は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が に が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は が は は は は は は は は は は は は は	る。対対のある安	が新をたないが、状	い日記でいる。	果る。要もできない。	、 行を終 うで を 療検 る	操り返 ある。 Šは受	し実際開発	施する。 施する。 鎖対応 れてお	うゅう
	拘束時間	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	СС	С	С	С	С	С	С	С		
6	とりくみじょうきょう 取組状況	以外 ⁻ 廃止 してU	でが軽いる、	まが また 大大 大大 大大 大大 大大 大大 大 大 大 大 大 大 川 大 大 川 川	が増け、流鏡では、流鏡をは、水道では、水道では、水道では、水道では、水道では、水道では、水道では、水道で	、、 図組み への睡	を を を に を に に に に に に に に に に に に に	東流施設況を	以外で 発止・ してし	が の が軽 い い る 、 や で	が活を動にまた間る のはまた。 では、また。 では、これが関いる。	きやし ナた取 本人	、 類組み の 題	を実験を実験を実験を表現しています。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	*東、施・況を	い以は廃しによった。	での流 ・軽減 いる。	で 動 を が に ま が 間 に た が 関	増や けた」 、本	し、 取組 入 人 人	ず、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	増せたい開新	し、 .てい。 を増	身体 る。 a やす a	が東 東 た、 ことを	上 • 東 (まんにん 人 人	Nit All Call All Ca	向け 状況 るが	た取組により	がっとう 活動を みをや 夜が間 、 な削りが

No.	じっし ひ 実 施日	1 [3 2 E	5 3 I	ま 日 4 日	5 5 日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日 18	日 19月	こち 日 20 E	5 21日	22日 23	8日2	24日 2	5日2	26日 2	7日 28	8日 29日	25 30日	31日
	拘束時間																													
7	取組状況	ふ不 い を か替	たった。世代をは、一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一	に場るるる	*体*居のいと後ろかってをすりた、**行	、移 : 替 : 、	ける ki音 が の ki東	楽りつ	。 不 い を 持 た	調定た強をられて、はなった。	は一面のいとなること	室切っで、ないない	、移動を 、、身の を、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	けると流音が切に	楽りつ	* 不 い を * を を う を う を う た う た う た う た う た う た う た	定時、場外を	う 身 は 満 の い と 浅 接 の い を 援	へりた、 移が替、 い身 たまり	がする えや、 流分の 体 拘束	と *音 *切 につ	まか この期 室へなままう を提供し、身	動す。 する	ると といっ * <	いった った、	: 、場 * 気分	面の切り の切り	り替え り替えを り替えを	ため、音を図るこ	学と
	拘束時間						В							С	D															
8	取組状況	「鬼安をけ滅 はい員 りら拘	『客ふぶって へるがある でうののである できる しょかい しゃれい	いるとたい。暴意図した。生で、取が拘っ行ら	ミ漁環流活 、、組り、為れユニ境流環、身みかがるニュの。境、体をらあま	は提びしている。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	なと上。為めど、支・治の	、光援は軽き四点職を切ら体	「参安を強減を受ってのが間が替から員業落ら心が行にびる。あで、えば居へ	ジ員 ち で うき句 14 ・ 、、、身 ら、室 の。長しと、着 き こ けき日、職・切が体 れ を、粗き時の い る と た はざ員 りご丼 た。開:暴が間「	いうことは、シリックと、肩、それた、生で、取、へ、替、束かけ、行き環、活、、組は激のえを、確る、為ない	*境流環に身みし、粗が実に認ががるの。境に体をい。暴症図に施の、みずる	渡是の海の実物流行らったそらが供り焼焼が乗がありが為れら途めのれい。 しょけい かいかい かいかい おいき かいかい かいき かいき かいき かいき かいき かいき かいき かいき	『共産『ロハバる『ロこ『郎となと』止。らあま、、連度こど』支・13』自っで『切』何、と	、緩、軽、日、傷たのり、度、職か	「 「 [*] * * * * * * * * * * * * * * * * * *	淡員 ち で うt と 着 き こ)身 コ た*生 で b取 た体 ミ*境*環*済 、 i組 ー	ニケッ・提供が扱い方が、体が、	ーショ 送 は は は に に に に に に に に に に に に に	ン」 ど、 支 接 ・軽	ま期にからかります。	ケー	ションきる当	ノ」「 ^{いかっかん} E 活 環	落ち 護境の	。 着いた 提供と	- 環境の - 支援を	でいきよう 提供」 を行うこ	なこと
	拘束時間				A									В	Α			С									A	В		
9	をりくみじょうきょう 取組状況	京時間 A 「気になるものを減らす環境整備」「気になる着いて楽しむた数に、対しなが、特別であるものの提供」ともに、下路内では、大阪には、大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大							で備。 ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は	こ 「沈男」に、束、施のえをな。落が心、、焼き中、粗がで実は、 といっまりに がでまる ちょう をいい こうまい こう おいき ちょう ちょう ちょう ちょう ちょう きょう しょう かいしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	ら そりとしこ うくか らった きょう きょう かい て とい 軽に日い 為 れ	てるの流、がに、ないが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが、ないが	しの漢がびった。おのにけた。	とがより、知はでに、、、組、、、組、、、、組、、、、組、、、、・・・・・・・・・・・・・・・・	、とうみ、職・切り	s備。 順と は体を らと はいり。 実は破な	「漢関に漢東・施・懐った。落心、、漢廃が中、行たる。医、山、、の満の、	もっ着き持ょ療・17にで、のいてと、軽は日つ、よ身をてるのが減はなが切が体	た楽もた連に、がりでもので携を向い物りが替え	いた。提よたの。興がた。提よたの。東が順の。東京のは、東京の、東京的なのでは、東京的なのでは、東京のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京の	に」、組り状ら、と身みが態れ	「紫と淡淡戦れにない。」のでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、い	ためり、医にいた。	に、療り、取り、暴いが、果かが、果かが、	が味が速をがいます。 あいれ かいま	心にいかった	・ 持て り、 シ ので し、 ので し、	らものの たいこうを 体拘束 し、及び	を廃止・ が28日は	と 軽 は、

No.	実施日	1	日 2	にち 日	3 日	4日	5日 5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日 2	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日 3	にち 1日
	拘束時間	C	;	С	С	С	С	С	С	С	С	С		С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С		С			
10	取組状況	が整にがる	に、備・向、これ	えなた人があると、取かあ	if 方 、 、 組 t 施 る 、 、 組 t 旋 る 。	」が体をした途 てず中	ユ 「ミ束」施 ほ 、 て一サ生は廃 し し。声 いっぱ しゅき	で舌で上ていず手によりです。 いとける そうぎし	うの を が を i i i i i i i i i i i i i	ちゃ施心身 でき方 どと取せ施る。着き錠が体スき法、 ※組き錠。	は い のが拘 ケ 」が身 み しが途 に、 てが要が束 ジ 、が体 を てが中 しいが がます にってい	過っさは、「「可っこまつ」でも、、一は生き束っ施し、声しなき未い。活は廃しい。掛	、か。実を対環に上てとけるが、から実をが環に上てとけるが、対象が、いいがいし、	入た。覚の経るえかこ「物整滅がる」	いっと ひこの こう こう こう の からな伝 しゅうな とば といい かんかん な けらん がい	室、なるこたがあ	的整にがる。	で伝」けば本とが	うだり がある こうない あいま はい はい はい はい はい はい はい あいい はい あいい はい あいい こう いい はい	」、流体をした途で、では、	「*東・施ほ、	レで舌で上ていた。視が現が境が軽るが訴し、	見の減しる誤	しらルなし	は大い身が視、いる に人が体く覚い身る。 から対で的たりから近	いう句を句は本 バックの はったにいった。 はったにらればいたい いきれい いきれい いきれい いきれい いきれい いきれい いきれい い	は に に に に に に に に に に に に に	ti 施 ti 施 ti 施 ti 施 ti 施 ti 施 ti 充 ti 主	ので、は、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ	ななが、活たいない	かでなり、は、かでなり、これでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	ことってりょきらい ことっぱきをるにった 一」旅とて	- - - - -
	拘束時間	9		A		Α	A	A	A	A		Α		Α	Α	Α	Α		Α	A	Α	A		A		A	A	A	A	Α			$\overline{}$
11	取組状況	て物を援む	おり、 提示し 」な。	、身によい、	たないこう 体拘! な伝	*東 え が 方 *東 た カ * 東 た た た た た た た た た た た た た た た た た た	*未実が 」、 「廃止」	で。 I 「余暇	「現 之 之 ん	いて 「現 取」 支	11 り、物、援・向に対し、 11 り、 17 なが 17	身体によい	が東に 初東に るに るた 身体 は	は えか たい 大い 大い 大い 大い 大い 大い 大い 大い 大い 大	美施。 、「 茶止・	** 余 * 軽	いて 「現 ・ 取 支	お。 物。 提っ 援」 た	身体によると	対象をは、	は未り たた 」 えっそくは	、「 茶止・ 草	たか 余 呼 経	は未	実施。 実施。 など、	「 弱	物提	示に。	よる伝	たるかた える方 ***] ,	水がりまる	<u>z</u>
	拘束時間	1																															$\overline{}$
12	取組状況		」「 ましょう 起床 廃止		まうしえん 支 支 の 変 を が 減 た を が し た の た に た の た に た う し た う た う た う た う た う た う た う た う た	〕後 う 更 う 向 け	いた対 る。応 ど。取 実 が に が に に に に に に に に に に に に に	変更。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	拘实	は 用」 「起は 東 た た た た た た た た た た た た た た た た た た	「宝 「宝床、止 。 。 F sk	ます 支 の が 経 え 変 に し た た の た し た し た し た し た し た し た し た し	後の 更」 向け	対応と、ない、たいのでは、	を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	満 実 ご	まう 用」 「起は 東 東 た	「就成 床支援 止・車 。この	まうしえん 長女援 後の変 と滅れる	後の 更 向 け	対応するというなど、たりになった。	かんど く組 を がん で は 体 を・過	美	の対抗廃止	けいげ	更」「 或に向っ	起床	支援 支援 取組 <i>ā</i>	つ変 更 で	う し」な	ど、真	、	-

No	_{じっしひ} 実施日	1 日	2 日	3 日	4日5	5 日	6日	7日8	8日9	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日 2	21日	22日 2	23日 2	24日 2	25日	26日	27日	28日 2	29日3	0日 31日
	拘束時間	C	В	В	В	В	В	В	ВЕ	В	В	С	C	A	В	В	С	В	В	С	С	С	С	С	С	С	В	В		
13	を りくみ じょうきょう 取組状況	と、来た他がるデゅっていり、	、が,用,著とルにる,に対り、者。が一,動。つ	ら、持・、午。多ムい、食い、解に、職が前く・て、事で、い。難が前く・で、事で、事で、録が明い員の、ふ廊・過ぎ前、	(使し)食へ、散そ、下ご後けていて、前の、歩の・せのが、か、 大きがい後、後、職る、落の。見	一はきには資よちなム、や切、室う着い	に、特、り、自然にかよいは定は自、替、室なななう	ての湯わとどっいにとうが低れることでいいに	ナニミルがらずっていた環境のムでるが利益のニィーのいま況。境のタ、がの用が著とルにるにが面った。 かっすい いき	から、特・ご午が多ムい、食いが解に、職が前く・て、事でいい。	っぱい しょ食 へ。散 そ。下 ご、後 けて、前 の 歩 の・ せの が	ホ、後、が叩、後、後、職る。落の一一はきには、員よちなし、	「ム」や『辺』(室う、着いに、特、いり」自然前にかよいな。 けいきん なななり	ての傷わとどっいに	と、来、他がるデどななでる。利、顕こィ、っい	、がず用が著といり自てが状が自、後者。が一ず由いが況がらい特・5千歳多」にあるに	っくけ	しょ食へ。散そか下て、事て、前の。歩の・・過ぎ前、	ホ、後た叩、後、後、職ご後け一はきには気量せのが、	たち ムー・ウェアー・全 るま客 カギウえ にが特 、 りょ自ま前 よ ち な りたで出が定。自ふ替、室 な うっ着 い を	ての傷わと にかよ	しのの空い着かれがある。	こうりょう ぎらら よ げんき に ル せき状 にも	に・・・切一る・況・相のより、日、職り、ムよいに、談	て資格・うつをで来へわる。にいか開	るのるがなって治ががっているが、こうというできまった。	特やが質いる。	ま朝に自くま前。とい食。傷、ない食りのという。	がそご事の、大神のないない。後のはないである。後のは、大神のないでは、大神のないないでは、大神のないないでは、大神のないないでは、大神のないないでは、大神のないないでは、大神のないでは、大神のないでは、	デ +F ム.
	拘束時間		С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С		
14	取組状況	(ホ紫続 30 で、続き動ける・気せう 運一・中炎分、いはな。・分たに	動	ロで泳外らーる。利、がか。者てグのか。昼ズ。。用、個。通らへい。ラ。解ら。食に、午。者。別ら、のる	『午 ム』除』自《の』自『後 と『対 な『対』他 。『方『前』中 の『室』予『室 の の』応 い』応『害』他 をの心心取 に、告 に ホ』生 を こ』職 も『害』検)りが戻をが戻一が活り実とが員が見がご・ 幼組るが行れ ムジ動が施やや らで出き	で午みが除うるが内が線し、が居れたが後をにこが日のをてき急か合る地場	の強いとが流かのなわよる	と(state O state by the State O state by the State O state by the State of the St	プロでがいらしる。利が個がかざ者でいでがいらしる。利が個がかざ者でがのかが屋が、の。用が別が通らへいだった。質が近には、では、	ラン解 うくき こう Fost in o	いで取 に、告 に ホザ生で実 こが職 もが害ない りが戻 をが戻 一が活が施 とが員が見 がない お れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ れ	・、組る流りんな、動しややらで出で、午み、際うるが内が線で、活用れた、後をにこが日のをいき急を含るま場	のが継、とが流活がつなわよる	s動 ム。中流分で、続き動ける。気せうプな内。 **前、いはな。 *分たに	ロで淀療かるて、が変要が変が利なすがのが外らムいた他らず求が調が用っていた。 かかば カッキ ていかん かんき ていかん かんがん しょう かん かん かん しょう かん	うい解いで、「からずで、「ないでは、」では、いいでは、いいでは、いいで、「ないでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、	いい、取い室、予い自い後とでないが、対が他のないり、いい、告い室ののをいででは、書が他	・ 〈組が戻をに木が生が実こが職もが害なが、年みるが行が戻一が活が施とが員が見がらいる。 おいまれ しょしん さいけい	『舌』後を『祭うれム』動しゃらっ世』中』動の『継にこる』内』線で、『居れた。(木ッ続、と『日のをい』急』合る『場	ー 30 が流かかなわよる	が対ホなこた。	さん ろい こより 詩 ちは ム ら や 角 間 りず中 次内 値 、 き に 、	近の別為へが拘るののの	てい動物で気が他ずいはを分が害、	たい実変も気がた他が調え見え分のいますしからある	2ヵ用てられが切りる。者い、るりが	は日とるが対よが替い。 まから の こが の うが うわ	リッド 東京 語。 まず、 説 説 説 説 説 が 、 に の の の の の の の の の の の の の	グ。紫線道法 て*待がうど午をら*合いつで出ム、後*分なわ、対対て

No.	じっしひ 実施日	1日2日	3 日 4 E	5 日	6日	7日8E	5 9 日	10日	1日 12	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日 2	20日 21	1日2	22日 23日	24日	25日	26日 2	27日 2	28日 29	9日 30	31日
	拘束時間							Α																		
15	取組状況	中る。時間に対している。が問にある。が問にある。	がにムが掛かる。名が不でこをとる。利識ででは、 のが用が調識と対する のが用が調調を対する	がまなが、これが、これがある。	を上渚心で、始も過き状	すあごる態がれた他のをすれ間に	。周 ぎょり ぎょう 一子流野と 、。用 、 ま よ ム・持流掛な 療・者 流短 め うが内 つ けりが とこ に に て こ を	リット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の資りかでしたが、こうが動がでする。錠、の一次とででいる。錠、の一次とででいる。務、付りでをを短そが緒がでしています。	*添えが、施が間以が過き状っ、床あ。で後ごる態でもごる。能ではずよが施りませる。	いたた態除、時う	ですあごる。	、とっき持うに職が同れが間に	がにム焼物のけた他、次のつけ	ッ利 s不 で こ を う用 い調 い職 と ま行	、者と資やう、接る、一、安なが、こい	、をこ緒心でしい。日が開とにで、て、ている。日が開といい、ていています。	きょうりょうしょうしょ	神学者の となり できまり できます できます でき さいままり でき さいままり という	を開始を入る	合する。 対で職 できる。	と一時に	に、 ^注 ・緒にi ・声掛し	* ボ調と 過ごす けを 行	なるこ 時間を う こと	とも ·持つ
	拘束時間							A									С									
16		いい。気は廃。居。的くで、替で、持い止い室にる、えたちに、外、落、様は施がたた。	し グッ安 けゃ気、着 や、実 れ、間め ッ、定 た に か 、、施 た のる ズ を・取 な ず、他 。、於り、拘・余 (※図 り る 、、害、場、踏、束、縮、が、絶、が、他 か、面 て に で の あ ご の こ に で の の こ で に で の で で で で で で で で で で で で で で で で	が布、み説者は、で、いいので、おり、これで、これが、これが、これで、これで、これが、これが、これが、これが、のが、これが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが、のが	の一体、実いの、句ので分点、提い物、施、かたのを、供、東、中、精、つの。切流行	での。一神てり、一日心。気は廃が他パたきです。	きちにゅ用テ、は怪るの。向。者ンが片が我にあるの。向。者ンが片が我に	ブネマナンショナラックでは、できている。 といれら ままれら といれら といれら といれら といれら といれら といれら といれら とい	*余(紫図りでこうが施っている。暇、毛り、組、使、慣とあしの。布、み。用れしった。	の体実でき激の続いてしています。中では、	ずせくぎゅうのという動を安での。、いう動を	心。気は廃い今りく。続者たで。持止。週、、い。居。	きちにはホ焼た窒そるの病には小がののなりにはいてのですのです。	ブネマナコュこごう*湯ゕッや定たロ☆入イ、は入心合々ズをや取ナりレ*落り、や	(対図 りか感で口 ギ ちこ込 すも毛 りく組み染の ユュ着 み ぐせ	『布、み』症』解ラかも、り、身を『対』錠一ず。想がの、体』実』応がな、『定』	にが難い日た他さがいました。しか課が利れが難		(を)を)のないので、布に大阪のので、布に大阪のので、布に大阪のので、切り、ののでは、ののでは、ののでは、ので、本ので、本ので、本ので、本ので、本ので、本ので、本ので、本ので、本ので、	の。向かる様	。 さい でで、 取い 精神 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、 が、	き 持 く 組 い う が き に い 害 い が ぎ に い き い が だ も が が ま が が が が ま が が が が が が が が が が が	。 安で実施っ たまた。 まちま	を図り 神。 居 かず、	、身体を全体を対する	、 対東 気に に向

No.	じっし ひ 実 施日	1日	2日	3日	4日	5 日	6日	7日	8日	9日	10日	11日 1	2日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日 31	にち 日
	拘束時間										A										В											\overline{Z}
17	数組状況	ずり、日、設、援りえ、出き、課、定を赤方ら	。 現。続のを。実がれる。 しき、提。職。施。不る。	るて、『示冷』、『明のよるの。場のは、「場のなった。」は、「は本いい。」は、「いまない。」は、「はないない。」は、「はないない。」は、「はないない。」は、「はないない。」は、「はないない。」が、「はない これ	に状 へが調ぎ共 ので不 タビジル の をゅ有い提が調 イラッキ はいしょう	もり誘し、共こるり、発ない時、至	のやるら、たった。	ら、い境で支わが考に試	ずら引い日が設定すかをるのを嫌れら出き。課に定え援らき。た他を置した	紫見、続かをを露っで等かくしき、提、実びからががが、っている。 いいかい かいり はいいい かいしょう がいいい いいき いいい いいき いいい いいい いいい いいい いいい いい	が こうでは、我に因う けいまでは、大きないでは、 いいでは、 いいのでは、 いいのでは、 いいのでは、 でいいのでは、 ないのでは、 でいいのでは、 でいいいのでは、 でいいのでは、 でいいのでは、 でいいのでは、 でいいのでは、 でいいのでは、 でいいのでは、 でいいのでは、 でいいいのでは、 でいいいのでは、 でいいいのでは、 でいいいのでは、 でいいいのでは、 でいいいいいいでは、 でいいいいいでは、 でいいいいでは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいいのでは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいでは、 でいいのでは、 でいいのでは、 でいいでは、 でい	近伏 へが調 でが暇 けが上が調 、 たが実が況 の をが共 は やが手 とが距 がが施がっき おが認す 、だ日 く た 粛 、 しじ	あか。発しる。課源終りを。切たるりずた。種とれ、とり。	るりけなりのつとりのやるがら類らりれい職りら替れていているがい。	い。境、か中)いへ間がを	ず引品で設定かを出き課定と援らき	。続のをを選っ20s害いき。提、b実びから用がて、デザが、には出来を	いは本・い員。こ声に、げ現が応いるに人は不が間に余が掛いな不ししし	状へ。調で。暇け、上。調、たっ。況のを共はや手と。距が	らもわ。誘う有、、日くな。離、あか。発しる。課が終りをが切る。課が終りをが切りです。	るりけい 運動 (つ この や る が 類 ゆり れ)職 りゃで す 泳環 ら の)食 て)員)時	、い。境、か中)いへが間	に状 いが間 3 うない でい種 こうない こうかい こうかい こうかい こうかい こうかい こうかい こうかい こうか	も漁場が類とるる。提しが中、よ	る。そしかりている。テなかが気いで・がらが持ば場ば	、赤へら。選ち流	きを支こがなる。続き誘え援とりりで	き、そうが、春つで、す。実でえつる。施きやあ	に人が環 。 、 、 へい境に今ヶ好に職	の。設。週き冷員がを、ふ活。気	てり、*余*動*持、いや*職*暇をち*不すり。は*行を*調	- \(\bar{L} \)
	拘束時間	С	D	D	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	С	D	С	С	С	D	D	С	С	С	С	С	С	С	С			\overline{A}
18	取組状況	資「『実な』実活行が職ドやもでと。夜。施る、施っ、資ア。他あ	マ冷間が中のしてがをがるない。	たソまデー・ある。ヨナ、者、調に、職一、物、後メッタ。。中ての、子、戻、員で、束、帯ニ、食、夜の、、様がる	サ過しにユメト間ト解析サ子サ上ごな。拘一二ト以ヒ除一をが	すい、束が書っかをなっるに日が取が時き一に試が内が確こが説が出が間のの、ご行の説を	は、目が引うして、このでは、これでは、これが、活が確な慣で、、雰ずないに、これが、日が見いませい。	」をくををたら気の	漫 「 j 実 な j 実 j 行 j 職 ド や もば と j 夜 j 施 つ j 員 ア 、 あっ j	マや間やかしてがをた也ることが帯。でていいの開が利いった。	こりはこうので、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アフラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックで、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アプラックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックではでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファッでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファックでは、アファッではでは、アファッでは、アファッでは、アファッでは、アファッでは、アファでは、アファッでは、アファッでは、アファッではでは、アフトでは、アファッでは、アフラッでは、アフラッでは、アフラでは、アフラッでは、アファッでは、アファッでは、アファッでは、アファッではでは、アッでは、アッでは、アンでは、アッでは、アッでは、アンでは、アッでは、アッでは、アンでは、アンでは、アッでは、アンでは、アッでは、アンでは、アッでは、アッでは、アッでは、アッでは、アッでは、アンでは、アッでは、アッでは、アッでは、アッでは、アンではではでは、アンでは、アンではでは、アンではでは、アンでは、アンでは	サ過しこユメ治別解ホトル様サ上ごなラ拘一ニシ以サ除一サ子がすし、財産	こうででは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱ」のでは、「いっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱっぱ	か果く且ん引うの、一つ一の人忍に、は設みが気活が確な慣、のな雰ずない定し、小長の動に認れが自ん囲るく	」をくををたら気が日、	トで定物にてをラ調は一撮錠イで時しはクが行み整、に。	た、ラい参しド勢。トス、加たアめるがで。にる	うきでん さい付い きょきがか かんかん しょう しょう きょう きょう きょう きょう きょう かい しょう かい しょ	け激ななたよ。中設をしいど。うの電	だ行 さば場ば場ご午 、ご動 しごい を ボボ・面 ご後 は職 き ている まず に ずち かい員 に う重	びょ曽 こずの かえしこめが しょ移 り らら体が対 きがら たっ動・替 もが制 し のい	が対象にえクをてき把	_† 過 を 二 ½認 の ´囲 ご ˙実 ユ を ´解 ˙気	すた施一流行法除やま上に日ま中ま書っを、がいました。	親というでは、地で設い午のい。行が利いては、後が活る。。 が用	これであるが自然	《夜〕拘〕実、間 ド、様、間、束、施、以 アナチ	は、間てに、開、確に抗が、、いけ、認	き東張り夕々慣てすいく、食れ、る	ななメたホ台のユ漢人のある	ツぇ組で一がぬのるも一み、のら日の。で、メージのもののでいった。	

No.	じっしひ 実施日	1 E	2日	3 日	4日5	日 日 6日	7日	8日	9日	10日	11日 1	2日	13日	14日 15	5日	16日	17日 18日	19日	20日2	1日2	2日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日 31日
	拘束時間																												
19	取組状況	定源にて着も制し	排た、ラをラ調は、握治。トス流行ス整、に	の愛すイをい参しドッ声吸がいったが、かったがったがったがったったったったったったったったったいがったったいではいいできればいい。	じけ激なな流き食蜂のになをしいどしる事をとがれてさり、いんしる事をとがれている。	いきに満って、動しがし、移の、後、職もである。後、職きて	うとうめるのいでしていないがいがいます。 しりらな体が対きな	定窓 にてをう調は、時しはクな行み整、	まれた、ラハ参しド袋一番、チス、畑たアめの場のであった。	りき要く とうせき こうき 大声・求 レ きまな きょう きょう きょう きょう きょう かい の つし るき事を	けば激ななたよず中設をしいど。うの質し、	ながら という とう はっぱい をがられる でんしょう かいがく かいましき しょう	まず しょめ いっし こうめ まま が しょ移 り らょ体 が きょ未た ら た。動・替 もょ制 し のら施	対験しえクをて地で定点にて着も地しの	時しはクえクをて	非にうをうめまる よく屋が世。トスが行みを、たりをして、	『たいかんだんできるというで、声が水んで、かいた、かいた、かいた。 にんらい けば激ななぶ応きば食が鈴こなを しいどしるき事をと	#行 さ #場 、 た よ ゅー *設 ・	な。増に、面、午、、動し、がし、移の、後、職きで、動・切か、員に、動・ない。	ドに酸っかかて かたて	ナミならいと	だけばども後	がイ油スの参動	がかかがかきがある。	しいが替きが対るるして	が要になう はいない 、、	が動い職が大戦が大戦が	しった。たが体が	の増える調整。
	拘束時間	D	D	D	D C	D	D	D	С	D	D	D	D	D	D	D	D D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D		
20	変組状況	をのい椅が動が持っ子を	。施錠に繰にる	。この に、デ ったす いた で	旋り期イが座とするがあるかがある。	を 薬具で は いという た。	、 で、 うで えった るい	実施。 を を う で で で で で で で う で う で う っ っ っ っ っ っ っ	中。を た後に ている	を 記、ス る。 夜	開錠し ムース	、 、 、 に が し が し が し が し が し る り る り る り る り る り る り る り る り る り る	が取る異な室が	が換 実 の が 朝 に 所 に が に の に の に の に の に の に の に の に の に の	施する。彼の	ず。 貰 ること 後に、	*室 * 逆 * 逆 が * 散 * 前 が * 前 が * が * が * が * が * が * が * が	間が、 れた。 て、	、朝けが 。また、 水への 水		きで、	、よく	、眠る	らこと	があっ	った。	まんにん 本人	ちょうし	朝けた お を生か きょう き調整

No.	じっしひ 実 施日	1日2	2日	3日	4 日	5 日	6日	7日	8日	9日	10日 11日	5 12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日3	80日 31日
	拘束時間																													
21	とりくみじょうきょう 取組状況	こらしろれ。雑に、時のののでてうた、誌が治に問いてきた。 をまが	・・ ・・ ・・食が服が、 ・・ ・・・ ・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	後つ」にす、こかってる識	特が後が後	のリ、繰られる	の用が返した、なると、 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	4・対触ら、ぐる	『食 た』追 が が。音 で り、後 り う ら。散ぶ楽。気 がる みんきんきん	こうとう ひきん ないかい いっこう こう おき きょう さき でき ないがれる いっぱい しょ かいれい しょ かいれい しょ かい しょ	うたけいですれ、をずんなのが「に。 が体のが「に。 が対がでいますが がいがいに。 がは図、一 ではいるが がいまる。個ン	。用くうとがらります。用くうしょり、カースをはいます。 アン・提り、対対に、対域を対する。供い行き応	マ手シ員疹応るスすシ動すをのを」でるのるのる。	しをなとるとまと	のが出りがのが出りがのが出りがいまりがいませんがいますがいます。	。 を い食が。利「たッ」誌:図 、後あ。用。肌。 クきり	ことの。者をがれて。提い、、の。触ぶ分で。供い	はおいてのからずのでは、特別である。	はが利ののりが供が音これ落れが用が昼が行しかが楽とち、実が者が食いす、をでう着	が後をるら言流、から後をるら言語、	に、いとにた分	ぎゃっ 出すっ るこ	「利原 」「の ックで、	が さんか でがった かっぱん かっぱん かっぱん できる かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう	が服に手給きが換い	き触を楽を説	うとし ナ」こ たい かたり	ことが こり、 識	」「就見される。 対見で表記される。 なれる。 なれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいまれる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	提供する。
	拘束時間		С			С	С			С		С	С		С	D	С	С	С	С	С				D	С	С	С		
22	とりくみじょうきょう 取組状況	『入』取『際亦下』居』恐」施』睡た『醒』体》眠のは。既、組、を『室れ。楽眠。 し』拘でた。未れ。雑み「ま走に」』良の1で来あめ『実	」。居っ気が寒眼リ・いはり。個点を室でりあして3た味、気	シ実かを転、るたみ、日が、実っ、対流ののはは、施治で	ッ゚中゚出」うではず崩、疹活。はがだてやブ、2れ3シ動ま、でかき、ルリシュロができる。	が き 「 レルチャヨ が、き、生、こ 2、、た、他 に、体が間 ちゃ前 は 、、名、質が陽、利 つい丼 た て、後が但 4々夜い	く覚い祭ぶり つうり ざっさいそくも 1~夏々が醒 にう用 なく束 けあか くら日く勤いし 、き者がを、つら、はら体の	いた。廊のる。実と、覚ら身は制で東	『取》祭を『室れ」施「ははれ」醒でた。《組「造に」。ほ《崩、たしが。』	りょううがのぎゅに てでのうい室 てりあい木が時間 いきいきんか 転いるい きょくをから いるいる 12歳 ちゅんしん いもの	の逆の逆の逆倒トの逆日」でよりが過ぎ日準無「施・出」ラではなありず、途体はか一分ず中てやブ、「どっちがカジャが、	びき「レルタト し、頃はらくし、舌がた。他になる、眠、睡。、頃はな体は、動がた。他にな体、眠、睡。ま、、体は、動、。時、利つ。拘」、眠りて2、制、未、性	《覚に》用な《東、の一、、、・時で『実が醒、《者がを14リー』 か、個」施がし、廊のる『実』日ズ(『『眼ら』別だ	たが下が居が恐いは ムが日が は ムが は の が の の の の の の の の の の の の の	、 取が覚にが用なが束のが眠なたたでかる。 縦をするがをはで気ど。めあが	みしるののる。実に2xkk、15、つなり、流下が居xxx、施が削りりが円が個たった。 をいをする をいまれい こくりん かいしょ かいしょ しょうしょ かいきん こく かいきん しょう かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ しょう しょ かいしょ しょ しょ かいしょ しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう し	『実派居』走に」こで、ム。明が対派をでいるがのが、のいにはける応え	『中かてりあ劇』、ま謂法がが海だら。転、る。間』他ぼれはで。拘	が か れ が 、 き え 、 の え れ る 、 き え の き る る る る る る る る る る る る る る る る る る	対策にいいるでは、であなはほかない。 いいりでは、であなはほないない。 あっぱりょう	で 引つが加たがるの。 ・ の ・ ・ の ・ ・ の ・ ・ の ・ ・ の ・ ・ ・ ・ の ・ ・ ・ ・ ・ の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が中にり。拘。個だ だ、、、 ・東。別った。	が。廊トを対たり、赤下ラッ実源応のでが、あってがあって、	い骨をブであるとでかい骨を対している。 しょく でんりい	でてつい日ル身が体が見い転なは、体が内が	が、、う拘<束し、くれが、、う拘<束し、くれが、こうがです。	「れる頃は、施ををしている。」という。「これのは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	きが りが かい かが あが かが あが あが あが あが かが	ら者 るしば 23日	を きら室 、 ハ 、 24 った。施。際は入い体 、

No.	じっし ひ 実施日	1日	2日	3 日	4 日	5日	6日	7 日	8日 8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日 2	21日	22日 23	3日2	24日	25日	26日	27日	28日	29日3	80日 31m	5 3
	拘束時間																															
23	取組状況	たえトをてのた。際接イガきの	にをレタたは朝み、おにガ。、まに	。 日 ら 時 か ジ 起 き 起 き	にここる強い時の4年によって、10年によって、10年によって、10年に10日によって、10年に10日によって、10年に10日によって、10年に10日によって、10年に10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10日によって、10	5分でがと 5~2頁 14補、減があの 15組がのの 16組織がのの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16組織がの 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	っ合えた リュ無 たばいれる 、く が、覚ない。	神がで っぱん 経路で	定 こがの タが利 り しざ期 な か さが用 、 、	がううせきなった。	らく ここき へぎ返う、冷分でがと。室ら。起。~夜。補、、減がに3き	s 給 ・ s 面 、 な ら ら ほ に に に に に に に に に に に に に	非折ドくれかか アなる間	えるとっここれがあるとなったとう。もいなったものなった。	おにガたのあっ	は際え援が、 が が に を が に に た に に に に に に に に に に に に に	、	が 的な 。 18 1は、	水は日2まか	i 補 p	を を は は は は は は は は は は は は は	支 た の	水分補 たが、 起きて	。給に日ま、ぎ	排はうなな	、支は利 どが拘ったる そう という という という という という という という という という とい	を後がい時を未れる	きゅう 中 ッ ・ ド ッ ら 、 施 。 に 、 の 、 施 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	22日(i に上が 時頃(ま良眠 がった の間に	とき 時に、 かくせい	
	拘束時間	Е	E	Е	Е	Е	E	E	Е	Е	Е	Е	Ε	Е	Е	Е	Е	Е	E	Е	Е	Е	Е	E	Е	Е	Е	Е	Е			7
24	取組状況	しつ	まがま 事がも 見ますり		で、 の上、			·職 :居	行く 行 。 うが	まがあ 東まで 見までりく	た他 あるが対応 目んで	で、I の上、	で 立 かい 開 銀	黒題は	て 職 居	行くず	事があ 見 見 取り 段 り	るの 対対応 I んで	で、 の上。	じりつか 自立誤 かいじょ 、開銀 しょく	がかった だ題は 関 した i i i i i i i	:* (能 : E : N : * E : * () * () * () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () (>) (>) (>) (>) (>) (>) (>) (>) (>) (>) (>) (>) (>) (>) (>) (>) (>) (>) (>) (>) (> >) (>) (>) (> > > > (> > > > > (> > > (> > > (> > > > > (> > > (> > > (> > > > > (> > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > > <br< td=""><td>じり</td><td>。 立課</td><td>題は</td><td>職員</td><td>が見ず</td><td>トリ対 い対</td><td>^{おう}の」</td><td>た。 かいじ 上、開</td><td>あるの 錠した いる。</td><td></td></br<>	じり	。 立課	題は	職員	が見ず	トリ対 い対	^{おう} の」	た。 かいじ 上、開	あるの 錠した いる。	
	拘束時間																															
25	取組状況	このまた。	, 期間、	施錠	する。	ことに	は無か	10	このまた。	期間、	地錠	する	ことに	ま無か		このタ	期間、	施錠	する	ことは	は無かっ	o	この期	間、	施錠	するこ	ニとは	た無か	った。)		
	拘束時間	D	С	D		Α	С	С	D	D	С	D	D	С	С	С	С	С	D	С	С	D	D	D	D	D	D	В	D			
26	取組状況	は、 だようきょう 状況 い 員 たい	施錠を を見な 一緒に	ががなった。対域がある。対域がある。対域がはいる。対域のでは、対域のでは、対域のでは、対域のでは、対域のでは、対域のでは、対域の対域のでは、対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対	るこ。 解錠 す時	ともまし、唇	あるか 宝室で 〈	、 識 ご ざ	は、 ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	施錠x を見な を見ば は に	対対はこったががっている。	るこ。 解錠 す時[ともまし、唇	あるが 宝室で <	・職	は、が状況とする	施錠 ^x を見な を見な る は る に る に る に る に る に る に る に る ら し は る ら り に る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る	がら がら	るこ 解錠 す時	ともあ	名のが、室室を	、 識 ど		ある	が、	じょうきょう 状況 を	を見な	ぶがら	解錠した	し、居	が応する 室で職 してい	

拘束種別: やむを得ず、首分で降りられないようにベッド柵(サイドレール)を使用する

実施月: 令和4年2月の実施状況

こうそくじかん みきにゅう みじっし ぷんみまん B=30分以上1時間未満、C=1時間以上4時間未満、D=4時間以上8時間未満、E=8時間以上24時間未満、F=24時間

	可東時間: <i>2</i>	大記人	は木夫	他、A	= 30万	广木洒、	. В=ง	リガリ	上一時	打 间木	与、 し=	- 1 時[可以上	4時间]木洒	$\nabla \rho = 2$	4 時间	以上と	時间に	<u> </u>	t=8	時间 と	<u>L</u>	可用木	両、 「	— 24時	[月]					
No.	じっしひ 実施日	1日	2日	3 日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日 31日	5 3
	拘束時間	D	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	E	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е	Е			
1	取組状況 	でを間るいない	むい、冷がしる時で2後らで	がは、たちは、床、神の、本で点や	1る。使人、補し、流ので、	©日は柵がを以意し使し身が中ではある希で向で用に体でします。 ここ しょ	にっっ 望っ ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない	ツゃ夜しき添き日は	し使で点が中で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	のすをベマた質と就る使ットが分があります。	として。希人が起るでは、一次体質がある。	*希 *様 む。 型 *様 *上 望 *子 *時 て *子 が	した。 を た。 で で で で で で で で に が に が に が に が に が に が に に が に に が に に が に に に に に に に に に に に に に	Dで、 る。日 は、1, する! こ行く	2 点細 計 計 計 計	べにしるし。用ッ、てのまに	本人に入れる。	これの 「落 いでし。」	使用った。	につい ちたら に。」 話し、	いてう。「一種の	記する。	本人(本人) 一一。 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	に確認 」と言	としては、	ごいる 補の る日	。「対 使用! があっ	まちた こつい ったか	: ら大 いて強	。 変だ。 く希望	こついて 病だ 望すが変わ	
	拘束時間																															
2	取組 状況	は試す子が確 ていか	*中は見しる、でにて。*介	ある。 うきる いべが がド	*夜は本、かぱんな安らは	っす、のば全、車が用ることが、にま椅しています。	まかい き き き き き き き は た た た た た た た た た た た た	様をき移	をめにるない。	は使は継ば本は寝き記 てに認う用で続に人で出て録も しています しょう のき おおぎ て	て、様でいるでいますい。	るをるべ就	*夜に*確ド	ま、こる安した世	また全し	をいれる 1 と動で	、こる。月が限が案 は継まこが間は判に である。	く売 り ここでに をい とい に をい継が会	いい、認しでいる、すて、いって、からない。	。 「 த	見った こりゅう しゅうしゅう と でく 東ない と でく 東ない		^{えん} 園 の:	**・**********************************	こて、	身体	拘束に	よ終了	こ とな	る。		

拘束種別: やむを得ず行う、その他身体拘束に当たる行為(草いすテーブル等)

実施月: 令和4年2月の実施状況

こうそくじかん みきにゅう みじっし ぷんみまん B=30分以上 1 時間未満、C= 1 時間以上 4 時間未満、D= 4 時間以上 8 時間未満、E= 8 時間以上24時間未満、F=24時間

]東時間: <i>ラ</i>	未記入 (ま未実	i施、A=	=30分	`未満、	B=3	0分以.	上1時	間未清	ち、C=	1 時間	引以上	4 時間]未 満、	D=4	4時間	以上8	時間を	ト満、I	E=8時	間以	上24時間未	:満、F	=24時	間					
No.	実施日	1日	2日	3日	4 日	5日	6日 6日	7 日	8日 8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日 2	21日	22日 23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日 31日	5]
	拘束時間																														
1	取組状況	ショ の安! は、	ンを た 定 が 説 床 え	これでは、これでは、ままれては、接ばれては、接ばれては、接ばまれては、ほうないでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	とで、 いる。 も <u>座</u> (、日中 。こ <i>の</i> 泣が萎	が は か 期間 次定し	<u>位</u> う	ショ の安 は、	ンを 技 定 が (就床 す	しょせいで、接き未りことが、これでは、一般では、一般では、一般では、一般では、これでは、一般では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	とで、 いる。 も <u>座</u> 仮	にっちゅ 日 っこの 立が多	がは <u>座</u> が期間 が期間 で定し	位 て	ショラの安定は、原	ンを た 定 が り	楽むこ	とで、 いる。 も <u>座</u> 1	、日中 。こ <i>の</i> 位が多	こクッ ゆ 動 定 と と た。	立 て	PTの助言で、日はから で、日はから は。就は 施で過ご	は <u>座</u> 位 うしえん じ 支援時	zの安 ざ	定が作	呆てて	こいる	。こ <u>の</u>	きかん 期間	
	拘束時間					Α		Α								С		С		Α							A				7
2	取組状況	やか時止か中トてとてかり、間・・・・・をす過りもか	ののが軽を見ず外ごクらで時で徹が減で守ししラうです。	を置えるこりこく イニー の変等 しゅうをよ状も ニとで実い時、なけ強強態らンでを施します。	ら身 ど たが化 で つ グ 、 な し 、 た チ 1,4	らりのかりのです。 はっぱい はい	とうりといこりで、して東で実すが自っない廃したべい操くごから	いいいしりしょ	やで時止や中トてとている。をは過りもで	のの、経り見ががごりらい時の徹が減が守ししラうない。 にったてイン	ででででででです。 かん	らりどたがでっグ、するが、取し、たチェー・	うのふ身、組 上本 り エ のき、束、体 みる車に人 、 ア・期	をうりをいこりで気しく束。実すら自っる過はない廃。施べる操くご、	いいいしりし身	や時止やトイとている。を過りも	ののが軽を見ず外ごクらない時で徹は減ら守ししうういれていった。	えずらしょうとてイニッキー、かけなりをがある。 ないしん ひんしん ひんしん ひんしん かいしん ひんしん ひんしん ひんしん ひんしん ひんしん ひんしん ひんしん ひ	りがかいでっグ、いなか、かないでっぱん。取し、たチ16.	こりは 、 A本 り エ 18を東 A体 みる車 A人 、 ア 8を Aを Aを も に は て 20		いいしりし	「	をにすてでぬるしゅ しゅうべき	いたトっしかをたて	間組がりものみし、ら	がをたゆうに、実践のでは、実践がある。実践である。	など 哲中。 影で、 りと	、	こうぞくは 内 東 東 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	

No	じっして 実施 F	υ 日	1日	2日	3日	4日	5 日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日2	1日	22日 2	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日 31日	j
	拘束時	静間																															
3	取組状況 し環境を整えることで、デイルームでも、これまで以上に安定した									ために、本人用のテーブルを用意 し環境を整えることで、デイルー ムでも、これまで以上に安定した						1. でま 一句 までい						この期間は、未実施。長期にわたり拘束未実施で、居室・デイルームで安定した姿勢で過ごせている。28日に身体拘束廃止検討会議を実施し、同日付で廃止とした。											
	拘束時	背間	D	D	D	D	С	С	С	D	С	С	D	D	D	D	D	D	С	С	С	С	С	С	D	D	С	С	С	С			7
から落ちそうになる。また、車椅子に座った状態で壁を蹴り、その大きを動で、車椅子ごと転倒しそうに、動が、ををしている。転落なることが確認されている。転落や転倒により、大きな怪我に繋がたがあります。								車椅子ベルトを外すと、身体を動かし、姿勢が保持できずに、車椅子であることがあった。落ちそうになるで支えきれた。京ならは、身体を変えた。「一大きないない。」では、一大きな性が高い。「一大きない。」があるいでは、一大きな性が高い。「一大きない。」があるいでは、一大きない。「一大きない。」があるいでは、一大きない。「一大きない。」があるいでは、一大きない。「一大きない。」があるいでは、一大きない。「一大きない。」があるいでは、一大きない。「一大きない。」があるいでは、一大きない。「一大きない。」は、日本がは、日本がは、日本がは、日本がは、日本がは、日本がは、日本がは、日本が							車椅子べんを使用している落ちを使用している落ちを使用している落ちのからなる。 本語の である ことで、 本語の ことが である ことが できなる ことが できなる ことが できなる ことが できなる ことが できない できない できない できない できない できない できない できない							車椅子ベルトを使用していない時に、全身で動き、体勢を保持できずに、転倒しそうになることがある。転倒した際に、自身で身体を支えられず、大きな怪我や、カテーテル抜管につながる危険性が高い。安全に配慮しながら、短時間での解除を重ね、軽減に取り組む。											